

中枢神経系原発悪性リンパ腫の治療のために受診中あるいは受診経験のある  
患者さんまたはご家族の方へ  
(臨床研究に対するご協力のお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター脳神経外科では、上記の病気で受診された方の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはありません。

**本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。**

【研究課題名】

中枢神経系原発悪性リンパ腫に対する R-MPV 療法の効果と安全性

【研究の背景と目的】

中枢神経系原発悪性リンパ腫(PCNSL)の治療法は、放射線治療による脳障害の観点から放射線療法中心の治療法から化学療法中心の治療へと変化しています。近年、世界的に放射線治療を併用した HT-MTX 療法(大量メトトレキセート療法)から R-MPV 療法(リツキシマブ、HD-MTX、プロカルバジン、ビンクリスチン)単独療法に標準治療はシフトしており、当院でも 2021 年より R-MPV 療法が開始されていますが、その治療成績などをまとめたデータがありません。

今回、当院での R-MPV 療法が開始から 2 年を経過することから、今までに HD-MTX 療法または R-MPV 療法を行った患者さんのカルテデータを調査して、R-MPV 療法と HD-MTX 療法の有効性および安全性を比較し検討したいと考えております。

【対象となる方】

2012 年 1 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までの期間に獨協医科大学埼玉医療センター脳神経外科で中枢神経系原発悪性リンパ腫(PCNSL)に対して治療を受けられた方

【使用する検体・診療情報】

使用する診療情報は以下のとおりです。  
なお、収集したデータは、研究責任者のもと適切に保管・管理致します。

- 1) 患者さんの基本情報  
年齢、性別、入院日、採血データ、治療前の全身状態
- 2) 治療情報  
手術日、放射線治療の有無と放射線量
- 3) 治療後の経過  
無増悪生存期間治療中(病変が進行せず安定した状態である期間)  
全生存期間(治療後の生存期間)  
腫瘍消失の有無  
合併症(R-MPV 療法による合併症の種類、合併症率)

【研究期間と参加予定人数】

この研究は当院臨床研究倫理審査委員会承認後、病院長許可日(2023 年 9 月 7 日)から 2026 年 3 月 31 日まで実施され、30 名の患者さんが対象予定となっております。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などで匿名化されたのち解析を行います。  
また、使用したカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【結果の公表】

この研究で得られた情報を、脳神経外科関連学会や医学雑誌などに発表させていただくことがありますが、この場合であってもあなたの名前や個人を鑑別する情報は一切公表されません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 脳神経外科 鈴木謙介(教授)

【問い合わせ先】

獨協医科大学埼玉医療センター 脳神経外科 担当者：杉浦嘉樹(学内助教)  
埼玉県越谷市南越谷 2-1-50 電話番号：048-965-8682(医局直通) 受付時間(平日のみ)：9:00 ~ 14:00

以上